



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

開校40年

No.439

平成30年度

学校だより 5月号

中野区立上鷺宮小学校

「や・さ・し・い・き・も・ち」

校長 堀 聡明

校長室から見える風景も新緑に変わりました。4月25日の雨上がりの日には眩しいくらいの緑でした。その緑の下で元気に校庭を走り回っている姿がほほえましく思えます。

さて、新緑から思い出したのですが、私の友人に「日本野鳥の会」の会員がいます。その友人は小さい時から森に入るのが好きで、鳥の鳴き声や姿に興味をもったようで、今でも時間があれば鳥を見に行っているそうです。その友人から教えてもらった言葉に「フィールドマナー」という言葉があります。野外活動での心遣いのことで、「や・さ・し・い・き・も・ち」という標語を作っています。これは、自然の中の生き物を大事にする気持ちが表れています。

や・・・野外活動は無理なく楽しく

自然は人のためだけにあるのではなく、知識とゆとりをもって安全に行動します。

さ・・・採集は控えて、自然はそのままに

あるがままを見ることで、今まで気づけなかった世界が広がります。むやみに捕ることは慎みましょう。

し・・・静かに、そーっと

静かにしていれば野鳥など野生動物を脅かさずにすみますし、小さな鳴き声や羽音など自然の音を楽しむことができます。

い・・・一本道、道からはずれないで

危険を避けるため、自然を傷つけないため、暮らす人に迷惑をかけないためにも道からはずれないようにします。

き・・・気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

対象の生物や周囲の環境をよく理解した上で影響がないように撮影をしましょう。また、カラスなどのように人の生活と軋轢が生じている生物、生物系に影響を与えている移入種、水質悪化が指摘されている場所では控えましょう。

も・・・持って帰ろう、思い出とゴミ

ビニールやプラスチックが鳥たちを死にいたらしめることがあるので、責任をもってごみをもち帰りましょう。

ち・・・近づかないで、野鳥の巣

子育てしているときに危険を感じたり巣の周りの環境が変化したりすると巣を捨てるなどの行為をします。野鳥の習性を熟知していない場合は巣の近くは避けましょう。

噴水池の周りには多くの鳥がやってきて、美しいハーモニーを奏でています。今年の愛鳥週間は5月10日から16日までで、野鳥を通して自然の大切さに触れてほしいと思います。

そして、上鷺宮小の子どもたち一人ひとりが、「や・さ・し・い・き・も・ち」で、相手を思いやり、自分の周りの友達にも大人にも明るく接してくれることでしょう。

5月の生活目標

友達となかよくし、協力しよう